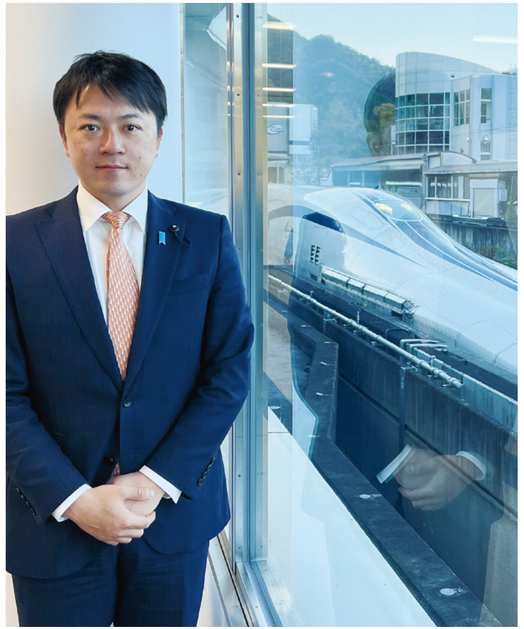
未来 NEXT

日本一誇れる山梨を創る NEXT GENERATION YAMANASHI 30

2023 Winter ISSUE 冬号 vol.12

30年後の未来へ 新たな政治を甲府から



県政ニュース

市民・県民の代弁者として積極的に活動
議員提案で県手話言語条例を制定

県議会活動レポート

令和4年　12月定例会一般質問
令和5年　6月定例会一般質問
農政産業観光委員会

NEW コラム 風林火山

無投票の重みと責任

今春の山梨県議会議員選挙を経て、４月３０日から２期目の任期（４年）が始まりました。お支えいただいた全ての皆様に感謝しながら議員活動に取り組んでいます。

県議選は戦後初めて甲府市選挙区が無投票となり、県全体でも議員定数の６割以上が無投票当選という“異常事態”で、さらに投票率は５割を割り込んで過去最低を記録しました。有権者の皆様に投票の機会がなかったことは率直に残念であり、下がり続ける低投票率とともに社会全体の課題といえます。だからこそ、無投票の重みと責任を感じながら、現状への危機意識を持って精進していく所存です。

長引く物価高・燃料高が中小企業や県民生活を直撃しています。コロナ後の反転攻勢を目指して山梨県は経済対策を講じていますが、より効果的・広範囲に好影響を及ぼすためには何が必要か、議会内外で実効性ある議論が求められています。県民目線に立ち、一人でも多くの声を届け、未来の山梨づくりにつながる県政を目指します。引き続き皆様のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

山梨県議会議員　向山憲稔

［ 発行元 ］向山のりとし事務所　〒400−0053 山梨県甲府市大里町2051番地　電話：055-225-6471　FAX：055-225-6472

Activity Report 主な議員活動報告（2022年12月～2023年12月）

定例県議会	
2022（R4）年12月1日～16日	12月定例会（16日間）
6月10日	一般質問登壇 ▶詳細は中面へ
2023（R5）年2月27日～3月16日	2月定例会（18日間）
6月20日～7月6日	6月定例会（17日間）
6月28日	一般質問登壇 ▶詳細は中面へ
9月26日～10月12日	9月定例会（17日間）
12月1日～12月18日	12月定例会（18日間）
臨時県議会	
2022（R4）年12月26日～27日	12月臨時会（2日間）
2023（R5）年5月10日	5月臨時会

所属する常任委員会・特別委員会・議員連盟

- 農政産業観光常任委員会 ▶詳細は中面へ
- 県民のための県有地の貸付及び賃料に関する特別委員会※
- 多様性を認め合い共生社会を目指すための条例案作成委員会※
- デジタル化推進委員会
- 水素社会推進山梨県議会議員連盟
- 中央リニア新幹線建設促進山梨県議会議員連盟
- 自殺対策山梨県議会議員連盟
- 山梨活性化促進県議会議員連盟　農林業部会
- 県有資産のあり方を考える山梨県議会議員連盟※
- 手話言語の推進を考える山梨県議会議員連盟※

※2022年度まで活動

各地の行事やイベントに参加

ウクライナからの避難者と意見交換

Mukouyama Prefectural Government NEWS 向山のりとし県政ニュース

※事務所有志が編集・構成（敬称略）

市民・県民の代弁者として積極的に活動！

「自民党信明会」（会派）、「農政産業観光委員会」（常任委員会）に所属し県政課題に取り組んでいます。

改選された総勢３７人で新たな県議会がスタートし、向山は会派「自民党信明会」を立ち上げて精力的に議会活動を展開しています。若手議員として行動力を活かして現場に足を運び、多くの声を聴きながら市民・県民の代弁者として県市一体のまちづくりを目指しています。

また、常任委員会は、昨年度に引き続き農業振興や経済対策、観光施策など多様な分野を所管する「農政産業観光委員会」に所属。「山梨経済に直結する課題を審議する委員会」の中で、議会内外で予算等に関する調査・質疑を行っています。中小企業経営者や農家、観光事業者の方々との意見交換を通じて得た知見を活かし、議会でのさらなる政策提言につなげます。

議員提案により県手話言語条例を制定

当事者の皆さんの想いが形に！
「手話」を言語と位置づけ、普及促進を目指していきます。

県議会は今年３月に「山梨県手話言語条例」を全会一致で可決しました。手話言語について「独自の言語体系を持つ言語」と定義し、県の責務を明記するとともに事業者に対してろう者への合理的配慮等を求めているほか、全国で初めて９月２３日を「やまなし手話言語の日」とすることが盛り込まれています。

条例制定は、県聴覚障害者協会の皆さんから一昨年に相談があり、県議会の有志で議員連盟を立ち上げて議論を重ねてきました。向山が市議時代から取り扱ってきたテーマでもあり、条例制定は手話への理解がさらに広がる起点になるはずです。手話通訳士の待遇改善や人員確保など条例を活かした施策が十分に展開されるようにこれからも意見提言していきます。

Profile 向山 のりとし プロフィール

趣　味
バスケットボール
スケート・グラウンドゴルフ
スポーツ観戦

資　格
教員免許

家　族
妻と長女（6歳）
長男・次女（双子5歳）
両親の7人家族
子育て奮闘中！

所　属
会派「自民党 信明会」
農政産業観光委員会

昭和59（1984）年7月17日
甲府市大里町のスーパー「シーサイド向山」の長男として誕生

平成3（1991）年　社会福祉法人 大鎌田保育園　卒園

平成9（1997）年　甲府市立 大国小学校　卒業
大国ミニバスケットボールクラブで活動

平成12（2000）年　甲府市立 上条中学校　卒業
祖父の「政治が社会の基礎をつくる」という話がきっかけで
政治に興味を持ち、政治家を目指すようになる

平成15（2003）年　山梨県立 甲府西高等学校　卒業
県内屈指の強豪校で、バスケットボール部キャプテンを務める

平成19（2007）年　明治大学 政治経済学部政治学科　卒業
大学2年の夏から議員秘書研修を経験
萩生田光一衆議院議員（現・自民党政調会長）事務所で政治の一端を学ぶ

平成19（2007）年　山梨日日新聞社　入社
社会部や地域報道部として事件・事故、行政取材を担当
山梨が抱える課題・問題点を知る

平成26（2014）年　山梨日日新聞社　退社
政治の道を志して活動を始める

平成27（2015）年　甲府市議会議員　初当選
「ジバン（地盤）、カンバン（看板）、カバン（鞄）」のない選挙戦で、
5012票をいただき初当選

平成31（2019）年　山梨県議会議員　初当選
「県民の声を生かす県政の実現」を訴え、9071票をいただき初当選

令和　5（2023）年　山梨県議会議員　当選（2期目）
「日本一誇れる山梨」を目指して活動中

1.少年補導員として活動
2.未来の荒川をつくる会に参加
3.グラウンドゴルフの普及に努めています
4.地域の消防団として信玄公まつりの警備を担当

Special Note 山梨のバスケが熱い！

熱狂に包まれたバスケットボールW杯での日本代表の活躍、そして、山梨県勢初のインターハイ優勝を果たした日本航空高男子バスケットボール部、19歳以下のW杯日本代表として活躍する小澤飛悠選手（城南中出身）など、かつてないほどバスケットボールが盛り上がりをみせています。

10月からはバスケ女子Wリーグが開幕し、山梨クィーンビーズが新たなシーズンを戦っています。子どものころからバスケに親しんできた一人として、引き続き山梨バスケを応援していきます！

Real Voice 皆様の声を政治にいかします！

向山の活動は皆様の“声”が原点です。

ＦＡＸやメール、ＳＮＳなどを通じて事務所にご意見をお寄せください。
市民・県民の皆様の声を向山の議員活動に活かしていきます。
皆様が考える県政課題から地域の問題点まで、お気軽にお聞かせください。

NEW コラム 風林火山

『 議会質問の意義 』

「向山議員の質問がきっかけになりました。ありがとうございました」ある職員から嬉しい言葉をかけられました。

昨年6月定例会で、県庁や県警で働く男性職員の育児休業（育休）を促進するよう本会議で質問。目標値を下回る実情を指摘した上で「制度」と「意識」の改革を要望しました。県警は新たな制度を創設して育休取得率の向上に努め、昨年度は過去最高の育休取得率を記録しました。

一方、県は今年7月、知事の「人口減少危機突破宣言」を契機に、男性職員の育休取得率を来年度中に100%にする方針を発表し、取り組みを本格化しています。

「ジェンダーフリー」が叫ばれる時代であっても、夫婦の育児・家事分担が進んでいない現状があります。議会質問などがきっかけとなり、少しずつでも「制度」と「意識」の改革が進むようにこれからも意見提言していきます。

問い合わせ　向山のりとし事務所
〒400−0053 山梨県甲府市大里町2051番地
電話：055-225-6471
FAX：055-225-6472
携帯：080-7758-8021
E-mail：info@mukouyama-nextkofu.com
HP：http://www.mukouyama-nextkofu.com
facebook http://www.fb.com/mukouyama.nextkofu
https://twitter.com/nori_muko
noritoshi_mukouyama

NEXT GENERATION YAMANASHI 30

Facebook、X（旧Twitter）、Instagramで政治活動などの情報発信をしています！ぜひ一度ご覧ください。

本会議の一般質問の動画は YouTube 向山のりとしチャンネルで見られます。

本会議　一般質問

令和４年 12 月定例会、令和５年６月定例会の
一般質問に立ち、県政の課題について質問を行いました。

令和4年12月定例会
一般質問（一問一答方式）

- **●リニア中央新幹線 新駅周辺のまちづくりについて**
  ①駅前開発　③大規模展示場・会議場の誘致
  ②空港整備　④首都機能の一部補完施設の誘致
- **●総合球技場（スタジアム）建設について**
- **●大規模屋内施設（アリーナ）建設について**
- **●ウクライナ避難民への支援について**
- **●ベトナムとの姉妹都市の締結による国際交流について**
- **●多胎育児への支援について**
  ①県の取り組み
  ②多胎育児支援に取り組む民間団体からの要望

令和5年6月定例会
一般質問（一問一答方式）

- **●新型コロナウイルス対応の課題認識と新たな施策への反映について**
  ①新型コロナ対応の課題認識
  ②山梨県感染症対策センター（YCDC）の機能強化と専門人材の育成
  ③県と市町村の協力関係の構築
- **●リニア中央新幹線の開通を見据えた空港の建設検討について**
  ①空港整備調査研究事業費
  ②地元合意及び建設コスト
- **●ベトナムとの姉妹都市の締結による国際交流について**
  ①知事のベトナム訪問における成果
  ②ベトナムとの交流促進事業
- **●行政機関における生成人口知能（AI）の活用について**
  ①生成AIのメリット・デメリット
  ②県における生成AIの活用
- **●手話言語への理解を深める取り組みについて**
  ①県立高校におけるこれまでの取り組み
  ②条例制定を受けた今後の取り組み
- **●児童相談所における人材確保について**
  ①児童相談所の職員体制
  ②児相職員の人材確保策
- **●先端技術に対応した高等専門学校（高専）教育について**
  ①高専の開設に向けた検討
  ②庁内検討のスケジュール
- **●不登校特例校や夜間中学の新たな学びの場の創出について**
  ①不登校支援に対する県の取り組み
  ②不登校特例校や夜間中学の設置検討

PICK UP!

ベトナム・クアンビン省との「姉妹都市」締結が実現

県は９月１９日、ベトナム・クアンビン省※と姉妹友好県省を締結しました。昨年８月に自民党青年局の研修でベトナムを訪れて以降、ベトナム地方政府との姉妹都市実現及び連携強化を議会内外で訴えてきました。日越外交関係樹立５０周年の節目に締結が実現したことを嬉しく思います。

今後は経済、観光、エネルギーなど幅広い分野で相互交流が進み、将来的に県内企業と現地事業者とのマッチング、ベトナム人材の受け入れ促進策が期待できます。より良い関係の構築に向け、県内で暮らす技能実習生との意見交換や、送り出し機関などの不正を防ぐための仕組みづくりが求められます。官民での交流が促進するように取り組んでいきます。

ベトナム・クアンビン省と交流促進
姉妹友好県省を締結

2023年9月20日付 山梨日日新聞

※クアンビン省…
ベトナムの北中部に位置する省（地方自治体）の一つ。省都はドンホイ市

多胎児家庭への支援拡充を！

双子や３つ子などの多胎児を育てる家庭への支援について、育児中のお母さんたちと意見交換を行ってきました。多胎児は育児負担が大きいとして、国は支援事業を行う自治体への費用補助に乗り出しましたが、現状は十分に広がっているとはいえません。市町村単位では対象となる家庭数が少ないために支援策が事業化されにくいとの指摘もあり、昨年１２月定例会の一般質問で「保健所などが中心となり、市町村間の連携を深める取り組みが必要だ」と訴えました。

加えて、県が設けている「やまなし思いやりパーキング制度※」について、双子用ベビーカーは重くてスペースが必要なことなどから、多胎児家庭の利用期間の延長を要望。県は今年６月から多胎児家庭の利用期間を「１年６カ月」から「産後３年」に延長することにしました。

「県民の声を代弁する」ため、引き続き多様な立場の方々と意見交換し、議会活動に反映していきます。

専用駐車場 生後1年半以降も
多胎児家庭 期間延長へ

2022年12月10日付 山梨日日新聞

※やまなし思いやりパーキング制度…
公共的な施設等にある障害者マークが付いた駐車場（思いやり駐車区画）で、利用証（パーキングパーミット）を交付することで、思いやり駐車区画を必要としている人が利用できるようする制度

PICK UP!

「生成AI」行政事務での効果的な活用を！

県は、業務効率化を目指して対話型人工知能（ＡＩ）「チャットＧＰＴ」などの活用を進めています。関連費用を予算化し、今後、県が持つ情報を生成ＡＩ※に学習させて高度利用を目指します。12月からは、全庁で生成AIの利用がはじまりました。

６月定例会の一般質問では、メリット・デメリットを精査した上で、職員の労働環境の改善等に生成ＡＩを活用するように提案。行政や教育機関が使用する際には、「デメリット面を克服するためのガイドライン策定、または条例制定も必要」と主張しました。

県教育委員会は７月に生成ＡＩの利用に関する指針を各学校に通知するなど環境整備を進めています。近い将来、議会答弁や施策立案に生成ＡＩが活用する場面も想定されます。県独自に実例を積み上げながら、効果的な運用となるよう議員の立場から提言していきます。

※生成ＡＩ…
「Generative AI（ジェネレーティブAI）」とも呼ばれ、学習済みのデータを活用して様々なコンテンツを生成できるAIのこと。読み方は「セイセイエーアイ」

“地産地働”を目指して県立高専の設立を！

高等専門学校（高専）は、５年一貫の実践的な技術者教育を行う高等教育機関であり、山梨など５県を除き、全国各地に国公私立５７校が設置されています。

政府の基本指針「骨太の方針」では、地方の人材育成機関として高専の機能強化が盛り込まれ、高専で経済・産業振興を担うデジタル人材の育成を行う方針を明示。山梨県では、２０１５年に設置に向けた議論が行われたものの、当時の検討委員会は高専の導入ではなく、工業系高校への専攻科設置が必要であると結論づけ、結局、費用負担などを理由に高専の導入を断念した経緯があります。一方で、依然として高専設置による地域経済の底上げを願う声も根強くあります。

地域経済の要となる人材確保のために県立高専の設置が必要だと考え、本議会の一般質問等で提言してきました。県は、新たな総合計画に「サイエンスを基盤にしなやかな頭脳と豊かな感性を持つ人材を育む高専の開設に向けた検討を進める」と明記し、庁内にプロジェクトチームを立ち上げて設置の可能性について検討を始めました。地域経済の活性化に結び付く高専の開設が実現するよう、関係機関と意見交換しながら提言を続けていきます。

▲今年3月に来県した萩生田光一・自民党政調会長は、人材確保の観点から高専設置の必要性を主張

農政産業観光委員会 主な質疑・政策提案一覧

令和4年12月定例会
- ●省エネ・再エネ設備導入加速化事業費補助金について
- ●賃金アップ環境改善事業費補助金について
- ●施設園芸等経営強化支援事業費について
- ●アイメッセ山梨の指定管理について

向山提言ポイント
災害時にアイメッセ山梨を地域住民の方々の避難所として活用を

令和5年2月定例会
- ●プレミアム食事券による経済効果について
- ●やまなしの花産地生産力強化事業費補助金について
- ●岡島百貨店について

産業労働部長答弁
県としても岡島の移転・再開を全面的にバックアップ。今後、岡島を含む商店街全体の活性化を目指していく

令和5年6月定例会
- ●ゲームの腕を競う「eスポーツ」への取り組みについて
- ●ベンチャーキャピタルと連携した新興企業への支援について
- ●シャインマスカットの開花異常について
- ●総合球技場（スタジアム）建設について

向山提言ポイント
建設費や維持費に加えて、経済波及効果を踏まえた議論を！

令和5年9月定例会
- ●仕事と家庭の両立支援事業について
- ●富士山におけるオーバーツーリズム問題について
- ●課題把握のための新規就農者実態調査について
- ●緑が丘スポーツ公園体育館への大型冷風機の整備について

向山提言ポイント
早期設置とともに、効果を踏まえて学校体育館等への設置検討を！

SNS

SNSで情報発信しています！

日ごろの活動内容を多くの人に知ってもらおうと、向山はSNSを利用した情報発信を行っています。より多くの方に県議としての活動を知ってもらうとともに、向山が考える県政課題や政策、主義主張を積極的に発信して県民の皆様との情報共有を目指しています。

facebook

YouTube「向山のりとしチャンネル」

本会議での質疑は動画で